

伯耆国「大山開山1300年祭」に向けて

公式ロゴマーク、記念料理開発、 プレイベントも多数開催

大山は、平成30年(2018年)に開山1300年を迎えます。1300年祭の前年となる今年から平成31年までの3年間は、記念イベントや法要などが数多く開催されます。この記念すべき「大山開山1300年祭」を機に、大山の麓に住み大山の恩恵をいただく私たちも、この節目のお祝いに地元を挙げて関わって、参加して、盛り上げ、一緒に楽しみましょう。大山寺や大神山神社奥宮へお参りしてみると新たな発見があるかもしれません。

公式ロゴマーク発表!

伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会が、昨年12月に公式ロゴマークを公募したところ、472点の応募がありました。最優秀賞に選ばれたのは、今井印刷株式会社(米子市)のアートディレクター、堀谷真澄さんの作品で

す。「1300」の数字を90

度左に回転させてあり、「1」で中海の水面、「3」で大山の稜線、「00」で太陽と月を表現しています。

このロゴマークの使用には、実行委員会に申請が必要です。

ロゴマークの使用に関することは実行委員会へお問い合わせください。

◆問い合わせ先

伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会事務局
(西部総合事務所地域振興局西部観光商工課大山振興室)

☎0859-31-9363、9371

ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=178969>

趣向を凝らしたメニューが ずらり! 合同試食会

1300年祭に向けた記念料理の試食会が、3月10日保健福祉センターなわで行われました。料理開発に取り組み飲食店など3つの団体(計17店舗)が参加。大山どりやベニズワイガニ、大山小麦など特産品や地元食材を生かした料理が並びました。

道の駅大山恵みの里公社も参加し、自然薯、大山ハーブ鶏、大山町産ブロッコリーを使用したメニューを出品しました。道の駅でのメニュー提供も現在準備が進んでいます。



料理は試食会での意見をもとにさらに改良を加え、今後は、店舗等で提供されます。

商品開発・新メニューで 気運アップしませんか?

地元・大山寺集落では賑わいプロジェクトで、また商工会女性部は、記念弁当などのメニュー開発に取り組んでいます。大山裾野エリアでも、1300年祭にちなんだメニュー開発を独自にされているお店もあります。これから取り組む事業者さんもあるかもしれません。そんな時、声をかけていただきたいのが町内にある、大山グルメ食道プロジェクト(商工会事務局) ☎0859・54・2065)や、大山町農商工連携等サポートセンター(観光商工課事務局) ☎0859・53・3110)です。

商品開発・販路開拓・個別相談・各種補助事業紹介などのサポートをしています。すでに1300年等にちなんだ商品開発の取り組みをされている方がいらっしゃいましたら、各方面へ話題提供をしますので観光商工課(☎0859・53・3110)へ情報をぜひお寄せください。